

調査研究等成果の概要、所見

日 時	平成30年3月26日～27日
場 所	東京都 TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
目 的	地方議員研究会主催の研修会への参加
研修内容	『行財政改革の手法』『人口減少時代の自治体経営』

概要及び所見

『行財政改革の手法』…明るい行革を・目に見える形でわかりやすく

●武雄市での行財政改革の取組み

- ・武雄市行財政改革プラン

行政改革の成果・行革プランの達成状況・主な取組み内容・主な未達成事項
将来に向けた課題・課題への対応策・改革の戦略・具体的な方策・財源対策

●行財政改革で市民は満足するか

武雄市新図書館（指定管理）・市民病院民間移譲・フェイスブック・行政視察人数
市立保育園の民営化・わかりやすい部署の名称・水道料金の値下げ

●議会で指摘すべきポイント

- ・一般質問でのポイント

総人件費は一定にする

↓

段階的に職員数・議員数を減らす

↓

1人当たりの人件費を増やす（安い給料ではろくな奴しか来ない）

- ・公共サービスイノベーション・ウェブサイトについて

窓口業務のアウトソーシングやクラウド化をはじめとする様々な取組み、それらの自治体の境界を越えた広域化・共同化など、公共サービスの改革に向けた自治体の先進的な取組みを政府として応援し、その全国展開を進めることによって経済・財政一体再生を実現する。

- ・先進地の取組み

【熊本県上天草市】

窓議地業務の民間委託

【佐賀県市町基幹情報システム】

県主導による情報システムのクラウド化

【飯田市・下伊那】

戸籍システム機器の共同利用

『人口減少時代の自治体経営』

- ・人口が減ることのメリット・デメリット
人口減少問題…人口減少問題の何が課題か

【メリット】

過密解消…東京圏のような過密地区では、慢性的な満員電車や交通渋滞の問題を抱えており、解消される。

資源枯渇…食料や石油などの限られた資源が不足する環境の中、人口減少のほう
が望ましい。

失業率の低下…少子化は人手不足を招き、それによって失業率が低下し、賃金上昇
を促す。

【デメリット】

労働力不足…熟練した技術者が退職し、労働力が足りなくなる。

税収不足…人口比率が高齢層にかたよりアンバランスになり、税収が減る。

国内需要不足…国内の需要減により、日本企業の利益が減る。

- ・人口を増やすためにどうすべきか

【先進事例】

流山市…『母になるなら、流山市』のキャッチコピーを中心としたPR活動を展開。
規制緩和によって開発を促進するケースが多いが、人口減少時代に不動産価値を維持するため、規制強化による質にこだわった付加価値の高いまちづくりを目指す。

メインターゲットである『共働きの子育て世代』が本当に求めるサービスをリサーチし、他の街とは明らかに違う環境を作ることを目指した。

市政への市民参加の機会を増やす。

少子高齢化のなかで人口増を実現するためには『子育て世代』に選んでもらえるまちづくりをするしかない。

- ・人口が減ってもやっていける自治体とは
人口減少…なぜ減少するのか？ 要因はなにか？

↓

高齢者減…自然現象である

↓

財政の方向…福祉予算の減少を子育て予算増に

↓

その結果…新たなまちづくり・税収アップ・産業政策・まちづくり政策
※この流れを理解し、仕組みを構築できれば必ず生き残る。